

三谷地域再生プラン策定報告書

三谷地域を元気で楽しくする 『おとなの楽校』

平成16年3月
香北町



お山の小さな学校「谷相小学校」がありました。

2年前まで、谷相小学校には子どもたちが通い、運動会など学校の行事に参加する地域の人たちの姿がありました。学校の存在が、子どもを中心にした地域の人たちのつながりを、より強いものにしていたと言えるでしょう。でも残念なことに、平成14年3月31日をもって休校となりました。



お山の小さな学校を何かに使いたい

それでも三谷地域の人たちにとって谷相小学校は、一人ひとりの記憶の中にしっかりと刻まれ、いつまでも大切にしたい地域の宝物のひとつなのです。そんな思いがあって、休校になっているこの小学校を残して何かに使っていききたい、何かいい方法はないかと、町や県の地域づくり支援課に相談する中から「地域再生プランづくり支援事業」という県の事業を活用することになりました。そして、三谷地域全世帯に呼びかけて、話し合い（ワークショップ）を進めていくことになりました。

住民参加方式で話し合い

三谷地域全世帯に呼びかけて、住民・行政・専門家の三者が一緒になって話し合いを進めていくことになりました。三谷地域の持っているヒト・モノ・コトの魅力と課題を整理し、地域の実情・特性に応じて、元気で楽しい三谷地域になるような「しくみ」を紡ぎ出すとともに、谷相小学校を使つての取り組みを含めた、地域住民による主体的な動きを創り出すことを目的として、話し合いを進めてきました。

2003年9月から2004年3月までに7回のワークショップを行い話し合ってきました。

第1回 (2003年9月30日)

- ・三谷地域のヒト・モノ・コトの魅力と課題点、「こんな三谷地域になるといいな」について話し合いました。



第2回 (2003年10月28日)

- ・三谷地域がめざす方向性を5つの考え方の「ものさし」として整理しました。
- ・「ものさし」をふまえて「こんなコトできるのでは」「こんなことも大切にしよう」といったことを話し合いました。



第3回 (2003年11月26日)

- ・2回目までに示された意見をもとに、三谷地域を元気で楽しくする『おとなの楽校『谷相小学校』』というしくみづくりの考え方を示し、話し合いました。
- ・また、これまでに示された47のアイデアに対する一人ひとりの気持ちの惹かれようを確認しました。

第4回 (2004年1月8日)

- ・47のアイデアをもとに、三谷地域を元気で楽しくする『おとなの楽校』13の取り組み内容を説明しました。
- ・そして、一人ひとりが「こんなことなら私にもできる」という得意技を出し合いました。



第5回 (2004年2月9日)

- ・前回示した三谷地域を元気で楽しくする『おとなの楽校』13の取り組み内容について、「すぐにできそうなこと」「時間をかけてやっていくこと」等、その積み重ねによって、三谷地域の将来の姿が見えてくるという話をしました。
- ・将来の姿をめざして、とりあえず小学校を使ってすぐできそうなこと、楽しくできそうなことを話し合いました。



第6回 (2004年2月24日)

- ・①このワークショップは「学校を残して使っていききたい」という地域の想いから始まったこと、②とりあえずお試しにいろいろと使いながらこれからの利用策や運営策を見つけ出していくこと、③地域の「やろう」という気持ちがあれば、行政としての支援は考えられないことを皆で確認した後、皆の「やる気」や「想い」について話し合いました。
- ・そして、それぞれが持ち寄った「食の技」を味わいながら「お試しにこんなコトやってみよう」を出し合いました。



第7回 (2004年3月18日)

- ・前回の「お試しにこんなコトをやってみよう」の実現をめざし細かく話し合いました。
- ・学校改修のあり方についても話し合いました。
- ・三谷地域を元気で楽しくする『おとなの楽校』実行委員会「ミッターズ」のこれからのについても話し合いました。



三谷地域がめざす方向性・5つの考え方の「ものさし」

ワークショップで話し合った地域の魅力や課題、「こんな三谷地域になるといいな」という想いの中から、三谷地域のめざす方向性が5つの「ものさし」という形で表されました。

- ◎ 自然や環境を守りたい
- ◎ もう少し地域を便利にしたい
- ◎ 先人や高齢者の知恵を活かしたい
- ◎ 皆のつながりを大切に楽しく過ごせる地域にしたい
- ◎ 三谷地域の魅力を感じる人に来て楽しんでもらえる地域にしたい

三谷地域を元気で楽しくするためのアイデアを考え、実行していくうえで心にとどめておきたい5つの「ものさし」。「こんなコトやってみよう」と思いついた時、そのコトが三谷地域のめざしているものなのかどうか、「ものさし」をあてて確認してみましょう。

「お試し」から始まる三谷地域を元気で楽しくする 13の取り組み

お試しやってみよう
第1弾!

影絵芝居

お試しやってみよう
第2弾!

炭焼き

お試しやってみよう
第3弾!

ハックさんの
雑貨屋さん

主催：三谷地域を元気で楽しくする「おとなの楽校」
実行委員会「ミッタニーズ」
日時：4月7日（水）午後7時～
場所：お山の小さな学校「谷相小学校」
入場料：500円（小学生以上）

6時頃～ 何か食べるモノを売る
7時～ 影絵芝居
8時半～ 持ち寄りパーティ

三谷の人たちが
つくって提供で
きるものをかま
えちよう。

秋頃から大小2つの炭窯づくりを始める予定。いつごろ、どんなことをやるのか、いつ人手が必要かなど「作業ごよみ」みたいなものにして皆に知らせるといい。（例えば、広報の回覧とかで）

ハックさんが学校に来る時（週2回、4時間）にやってもらえないだろうか。とりあえずは、ハックさんに旗振り役になってもらって、1人寄り、2人寄り、3人寄り・・・皆で始めていこうよ!

「楽市楽座」や「楽しめる村をつくるプロジェクト」などのとりかかりとして

「炭で環境を守る作戦」などのとりかかりとして

「三谷の縁側&ついでにプロジェクト」のとりかかりとして

1. 楽市楽座

三谷地域の人たちの得意技を集めて、年に一度くらいはお披露目市を開きましょう。農産物も作家たちの作品も、人気が出たら特産品! もちろん、地域外の方にだって貸しやりましょう。お山の小さな小学校は人気スポットになれるかも知れません。

2. 楽しめる村をつくるプロジェクト

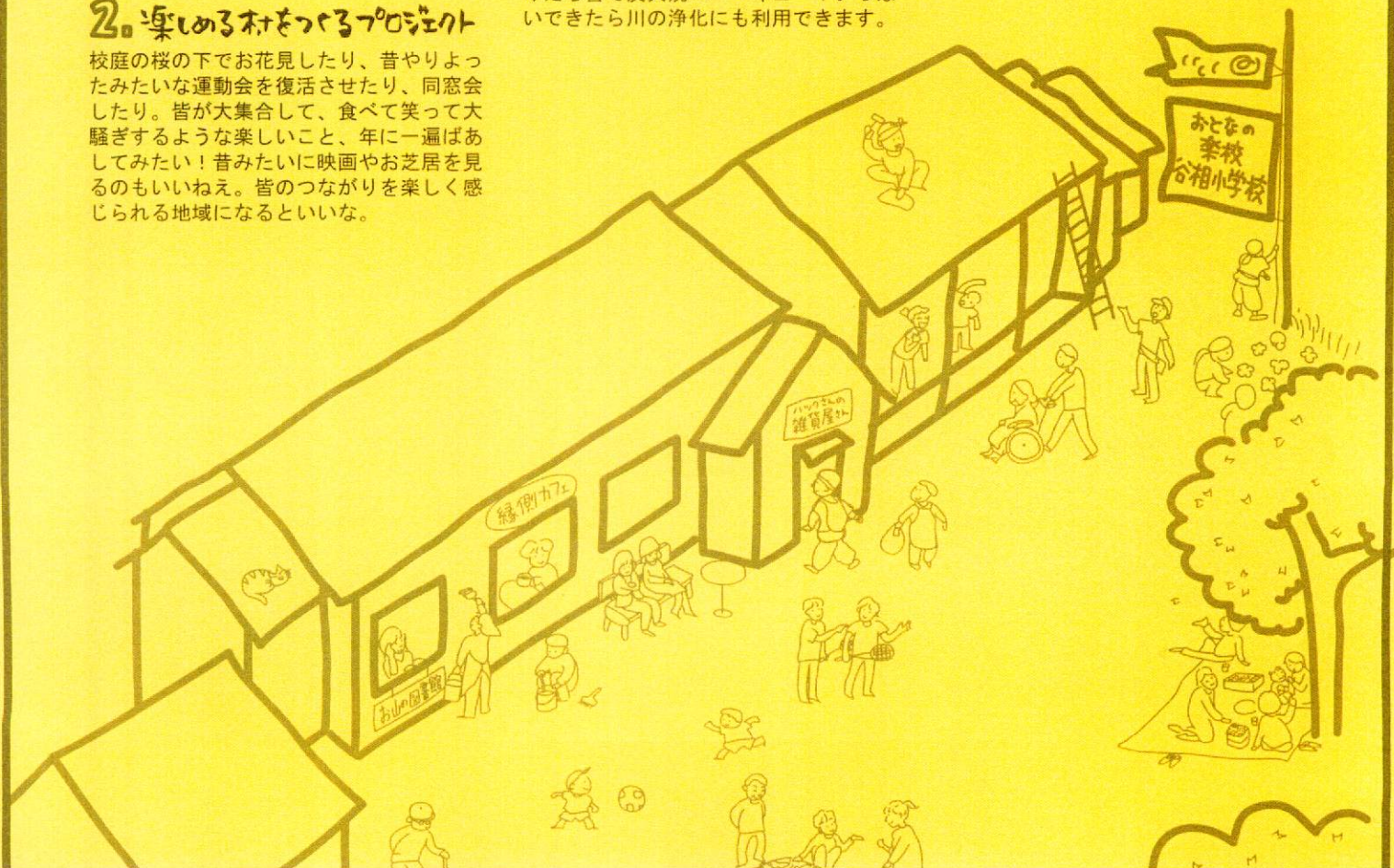
校庭の桜の下でお花見したり、昔やりよったみたいな運動会を復活させたり、同窓会したり。皆が大集合して、食べて笑って大騒ぎするような楽しいこと、年に一遍ばあしてみたい! 昔みたいに映画やお芝居を見るのもいいねえ。皆のつながりを楽しく感じられる地域になるといいな。

3. 炭で環境を守る作戦

おとなのクラブ活動みたいに、ゴトゴト炭を焼いてみましょう。山の手入れも出来ます。竹の活用も出来ます。上手に焼いたら皆で炭火焼バーベキュー! いっぱいできたら川の浄化にも利用できます。

4. 三谷の縁側&ついでにプロジェクト

雑貨を買いに来たついで、本を借りに来たついで、側を通りがかったついでに、気楽に立ち寄って誰かとおしゃべりできる場所があったら嬉しい。自家製のお茶や手作りのおやつを持ち寄って、ほっこりなごめる場所をつくりましょう。



5. 「山の学校」をつくらう

昔の人の知恵や技は、ちゃんと伝えられるうちに引き継いでおきたいものです。農作業・大工仕事・保存食作りその他いろいろ、一緒に作業をしながら伝える、学べる。『三谷式ダッシュ村』構想です！

6. 学生を三谷へ呼びこむ作戦

狙いとするのは田舎暮らしを体験したい高知工科大生！空き家・空き室を学生たちの住居として提供しちやれんものでしょうか。家賃は安く、時には野菜の差し入れ、行事への招待と魅力を提供するかわりに、農作業・山仕事の手助けや買い物代行など若者の力を借りるのです。

7. グリーンツーリズム 「山村キャンパス」構想

美良布のアンパンマンミュージアムで楽しんで、日ノ御子で川遊び。そのまま三谷にやってきて山の恵みを満喫できる。米作り・間伐体験・山菜取り・銀杏拾いとキャンパスメニューは盛りだくさん。

8. 三谷式ミニデイサービス

三谷の人が持っている技が発揮されて、魅力的なメニュー満載のデイサービス。何人かのお年寄りが、定期的集まれるようになると、保健士さんの健康チェックが受けられます。相談にものってもらえます。何より、「人と会って話ができる場」があるだけで、気が晴れます。

9. 三谷ブランドショップ

三谷の美味しい野菜の魅力を地域外の人にもっと知って欲しい！三谷に住まう1ターン作家の作品を自慢したい！三谷をまるごと楽しんでもらいたい！

10. 地域通貨を通じた 助け合いの組織

ちょっと車で送って欲しい、そろそろ散髪したいなあ、買い物ついでに何かできるかな。助けを必要とする人と、助けることができる人。お互いが気持ちよく頼り頼られる関係をつくりたい。

11. 美しい川をつくるプロジェクト

三谷地域は自然に囲まれた素晴らしいところ。その風景を守るためにはまずは川の浄化から。川に直接流れ込む家庭雑排水のこと、ポイ捨てされている空き缶やごみのことに、皆で向き合っていきましょう。

12. 山を守るプロジェクト

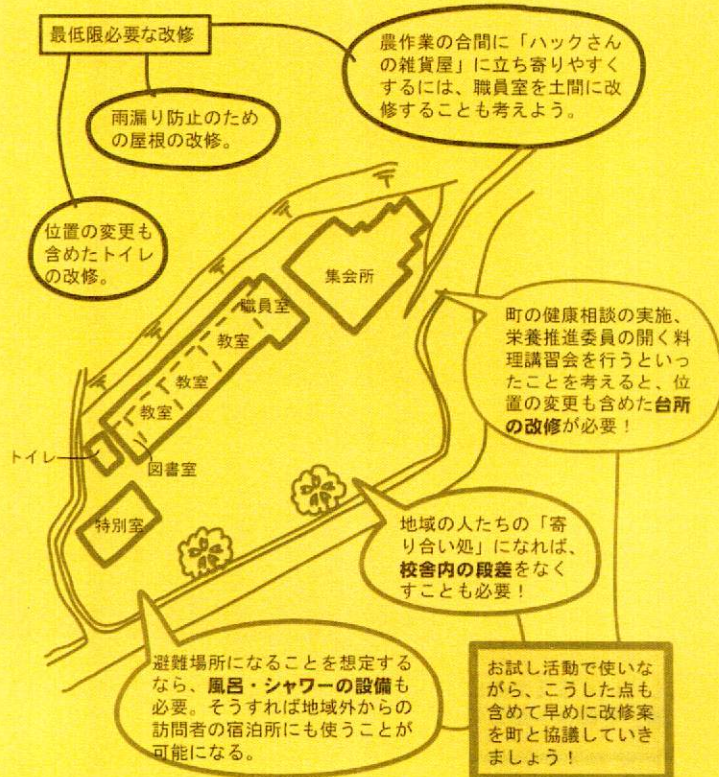
人手が足りなくなって、ほったらかしにされてしまっている山々。枝打ち・間伐・切り出しなど、手をかけてやらないと益々荒れてしまいます。地域外の人たちの手も借りて間伐を行い、健やかな雑木林を育てましょう。

13. 道路整備

道路が広がれば、地域が便利になります。どこもかしこも広げる必要は無いけれど、街灯や信号も無くなっていいけれど、三谷の魅力を損なわない程度に整備されるといいな。

小学校の改修について

お試し活動を重ねていく中から、次第に地域の人たちの交流の場として、さらには地域外の人たちとの交流の場ともなるような交流施設として、**お山の小さな学校**が新たな役割を果たせるよう、段階的な改修を図りましょう！



ミッタニーズのこれから

ワークショップの中で生まれた「ミッタニーズ」は、三谷地域を元気で楽しくする「おとなの楽校」実行委員会として、①「こんなことやりたい」というつぶやきを企画につなげたり、②皆で楽しく進めるにはどうすればいいかを考えるといった役割を担います。

とりあえずは、ミッタニーズ会長+3区長+7班代表者で設けられる地元検討会で、これからの運営方法等を検討することになりました。

近い将来、下図のようなしくみが出来上がっていくことを期待しています。

おとなの楽校『谷相小学校』

